

# Our Future

夢と希望が輝く中学校へ

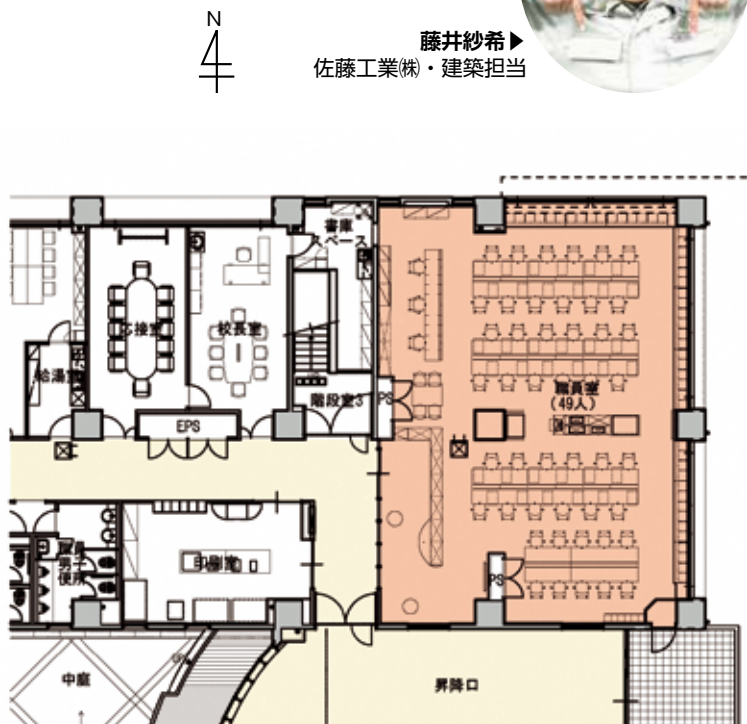
## 浜岡中学校の新校舎図鑑

vol. 8 職員室



藤井紗希 ▶  
佐藤工業(株)・建築担当

今回は、職員室を紹介します。  
校舎北東の角に配置する職員室からは、正門から登校する生徒や東側通用口から自転車で登校する生徒を見守ることができ、グラウンドや駐輪場などの状況も把握することができます。また、廊下側の壁をガラス張りとする事で、どこからでも室内の様子が分かり、生徒が入りやすくなる作りになっています。明るく開放的な空間と先生の執務スペースを仕切る長いカウンターを設けることで、気軽に生徒が職員室に入室できるとともに、先生が重要な書類や資料を管理しやすくなる環境を整えています。先生の執務スペースはフリーアドレス制を採用し、大きなテーブルで自由に仕事することで、学年ごと、教科ごとの打ち合わせや作業がしやすくなっています。  
次回は、中庭について紹介します。



照 会 教育総務課 ☎0537-8733

現在、市内16カ所に放射線防護施設の整備が完了しています。しかし、この施設の開

「放射線防護対策工事が完了した施設（以下、放射線防護施設）」へ一時的に避難することになっています。この施設は、放射性被ばくを防ぐために、放射線や放射性物質が屋内に入り込まないように対策されています。

市の計画では、この教訓を生かし、原子力災害発生時に、即時に避難することで健康リスクが高まる人は、家族もしくは避難支援関係者とともに「放射線防護対策工事が完了した施設（以下、放射線防護施設）」へ一時的に避難することになっています。この施設は、放射性被ばくを防ぐために、放射線や放射性物質が屋内に入り込まないように対策されています。

福島第一原子力発電所事故で避難を余儀なくされた人の中には、避難所などへの移動中に肉体・精神的疲労により亡くなられた人（震災関連死亡）がいます。福島県での震災関連死者数は、東日本大震災から8年間で2200人以上に達しています。



▲比木地区センターのエアシェルター



▲市役所西館の空気浄化ユニット

# Atomic

暮らしと原子力

御前崎市原子力災害広域避難計画③  
放射線防護施設

設や開設後の運営、要配慮者を移送するための車両・要員の確保など、さまざまな課題が残っています。これからも関係機関と連携して訓練や検討を重ね、市民の安全確保に努めます。